

3. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、人間の自由な創造力を活かした「創造的経営」、現状を打破し常に時代の変化に挑戦し続ける「革新的経営」を経営の基本姿勢としており、急速に進展する経済のグローバル化並びに市場環境の変化を視野に入れ、「得意とする制御技術を駆使して顧客ニーズに応え、社会に貢献する」ということを、事業活動上の指針としております。また、株主をはじめとしたステークホルダーからの期待と信頼に応えるよう、グローバル連結経営に根ざした優良企業グループとして永続的に成長することを目指し事業活動を推進しております。

(2) 目標とする経営指標

当社は、従来より目標とする主たる経営指標として「ROEの向上」を掲げており、さらには1株当たり当期純利益（EPS）を重視した経営計画を策定しております。ROEについては、「10%以上」を目標としており、営業利益率の向上とEPSとあわせて、常に高い目標に挑戦してまいります。

(3) 投資単位の引下げに関する考え方及び方針等

当社は、株式の流動性を高め、より多くの個人株主の増加を図ることを資本政策上の重要課題と認識しております。そのため、利益還元の実現に加え、個人株主にわかりやすい事業報告書の作成やホームページの拡充などの対応を進めております。

(4) 中長期的な経営戦略と対処すべき課題

世界経済は、依然として厳しい状況が継続し、短期的に好転するとは予測できない状況ではありますが、当社グループは、経済状況の回復および新たな成長期に向けた事業構造の改革を実施すると同時に、あらゆるコスト削減ならびに収益構造の改善に取り組み、急激な経営環境の変化にも柔軟に対応できる、強固な収益体質とゆるぎない経営基盤の確立を目指してまいります。さらに、低炭素社会の実現への貢献、環境配慮型の新時代に適合した新規事業の開拓と拡大の実現に取り組んでまいります。

① 産業用制御コンポーネント事業分野について

既存の産業用制御コンポーネント事業分野におきましては、国内でトップシェアを誇る制御用操作スイッチを中心に、収益性の高い主力製品群のグローバルベースでのシェアの拡大を図ってまいります。

そのためにも、制御用操作スイッチや安全関連機器関連の製品におきましては、当社グループの有する生産技術をさらに高度化させ、商品力および価格競争力を徹底的に強化していくことで、国内市場においては、“オンリーワン”ともいえる圧倒的なシェアの獲得を目指してまいります。

② 新規事業分野について

当社グループにおいては、新規事業と位置付けておりますLED照明をはじめとするLED関連の応用製品事業は、低炭素社会の実現への貢献、環境配慮型社会への適合という点においても、今後の成長分野であると予測しております。したがって、当該事業分野におきましては、当社グループの有する制御技術および制御システムとの融合を実現するこ

とにより、総合的な商品力、システム提案力などによる差別化を図り、業績貢献度を高めながら、事業の拡大を図ってまいります。

③ 国内グループ会社の再編について

当社グループの総合力を活かし、バーコード関連ビジネスを含むトレーサビリティ事業をさらに強化すること、また、ファクトリーオートメーション分野の電源事業の強化および新規事業分野のひとつであるLED照明用電源事業を拡大していくことを目的に、当社に事業の主体を集中させるため、これまで、各々事業の主体を担っておりましたIDECオートメーション株式会社およびIDECパワーデバイス株式会社を、それぞれ、本年5月および6月に解散し、当社に経営資源を集約することを予定しております。

その他、本年4月1日付で、株式会社朝日制御から商号を変更いたしましたIDECエンジニアリングサービス株式会社においては、ファクトリーオートメーション分野の電子系製品などの事業拡大を図ってまいります。また同時に、制御エンジニアリング機能を充実させ、当社グループの製品を中心に、最適なプロダクトミックスによる政策的な販売促進を図り、よりタイムリーな顧客ニーズへの対応を実施することにより、販売の拡大に取り組んでまいります。また、同社は、本年4月1日付で、株式会社アイ・イー・エスより商号変更を実施いたしましたIDECロジスティクスサービス株式会社とともに、e-コマースの中核会社としての役割も果たしていく予定であります。

④ 海外事業展開について

現状は、世界同時不況の影響を受け、これまで高成長を続けておりました中国経済も、その成長にかげりを見せておりますが、ファクトリーオートメーション分野におきましては、今後早期に、再成長が期待できる市場であると予測しております。当社グループにおきましては、中国市場では、2002年に上海に販売子会社を設立して以後、深圳、北京にも販売子会社を設立し、販売網を整備してまいりました。今後、さらに、当社グループの主力製品である制御用操作スイッチを中心に、シェアの確立を図り、販売の拡大を推進してまいります。

また、現在、日本を中心とした中国以外への国および地域への当社製品の供給が主体である蘇州の生産子会社は、今後は、現地生産・現地供給の拠点としての機能に重点を置き、中国市場に適合した製品を市場投入し、中国での価格競争力を強化してまいります。

⑤ CSRへの取り組みについて

当社は、1945年の創業以来、“企業活動を通じて、社会に貢献する”ことを、経営の基本方針のひとつとしてまいりました。最近では、長年の安全関連製品の開発実績に基づく“安全の普及”とLED関連製品事業を中心とした“環境配慮型低炭素社会の実現への貢献”を、事業展開の中心に据えております。安全分野では、そうした長年の取り組みが評価され、“平成20年度製品安全対策優良企業経済産業大臣表彰特別賞”を受賞しており、地球環境への配慮という点においては、当社グループのLED技術を結集し、2008年3月に、世界初の全館LED照明による建屋“IDEC SALES OFFICE”をオープンしております。